

令和5年度「全国キャリア教育・就職ガイダンス」
キャリア教育・就職支援の取組事例紹介

**デジタルサイネージを用いた
学内での就職活動情報放映の取り組み
～来場者分析システムを用いた現状把握～**

信州大学	キャリア教育・サポートセンター	西尾 尚子
信州大学	キャリア教育・就職支援室	荒井 明子
信州大学	キャリア教育・サポートセンター長	林 靖人

2023年6月20日（火） 15:00～15:30

本日の流れ

I .Introduction

II .デジタルサイネージを用いた企業紹介動画の提示

III .来場者分析システムを用いた動画視聴調査

IV .Future Work

Introduction

- 信州大学では、学生の地域企業への関心を高めるために、学内の食堂前空間にモニタを設置し、デジタルサイネージを用いた就職活動情報として企業紹介動画を放映する取り組みを行っている。

- 企業紹介動画は、学内合同説明会の出展企業等に依頼し各社が作成し、企業の特徴やアピールすべき点を数分で簡潔に紹介しているものである。



Fig. デジタルサイネージの様子

Introduction

- 近年、学生が望む就職活動情報と大学や企業が考える就職活動情報にズレがあるという指摘も存在する中で、実際にどれだけの学生がいつ足を止めて視聴しているか、来場者分析システム「視来リンク」を用いて調査を行った。



Fig. 「視来リンク」のイメージ

デジタルサイネージを用いた企業紹介動画の提示

内 容 2023年2月21日開催の「解禁目前！信大生のための合同企業セミナー」に参加する企業の企業紹介動画

提 示 期 間 2023年1月26日～2023年2月21日。時間は8:00～20:00。

信州大学 旭会館 生協食堂前の空間（食堂出口側）

場 所



企 業 数 20社（IT・情報処理4社・メーカー6社・金融4社・その他6社）

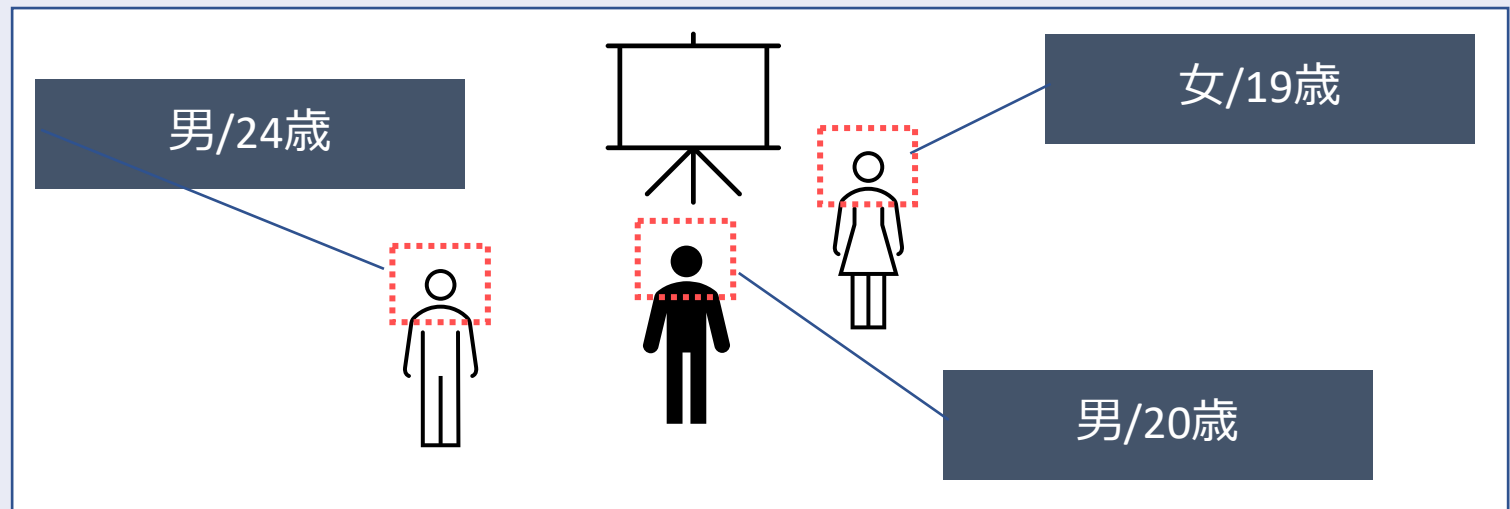
来場者分析システムを用いた動画視聴調査

目的

企業紹介動画を学生がいつ視聴しているか明らかにすることである。どれだけの学生がいつ足を止めて視聴しているか現在不明である。それらを明らかにすることによって、より効果的な放映方法を模索する。

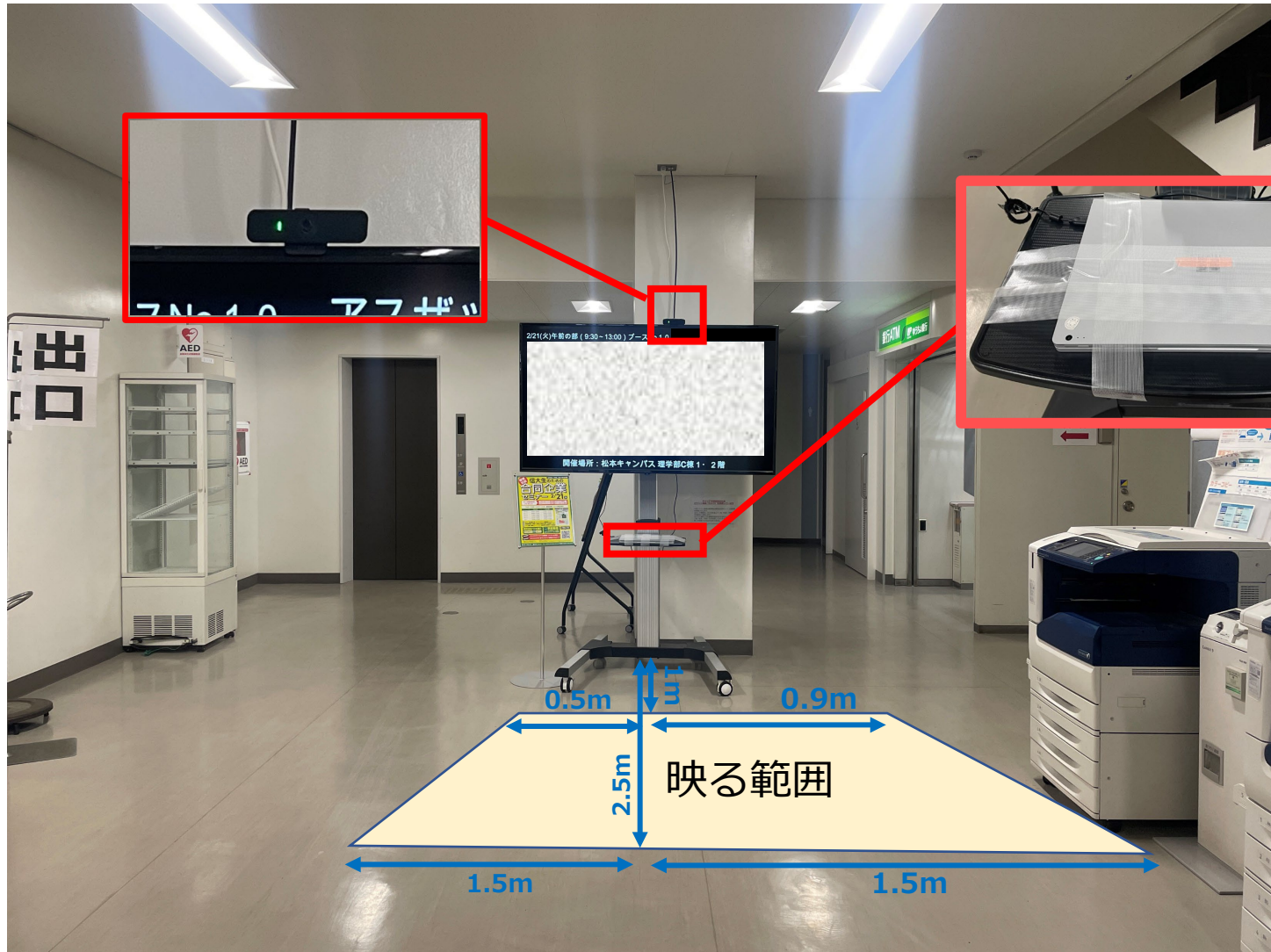
データ取得

目的を達成するためには、いつ学生が食堂前空間に設置されたモニターを見ているかデータを取得する必要がある。データの取得方法には、「来場者分析サービス～視来リンク～」を用いる。これは、設置したカメラで撮影された顔画像をAIが解析し、「来場日時」「来場者の属性（性別／年齢）」を判別するものである。顔画像は属性判別後、ただちに消去され、PC・サーバー等に残らない。



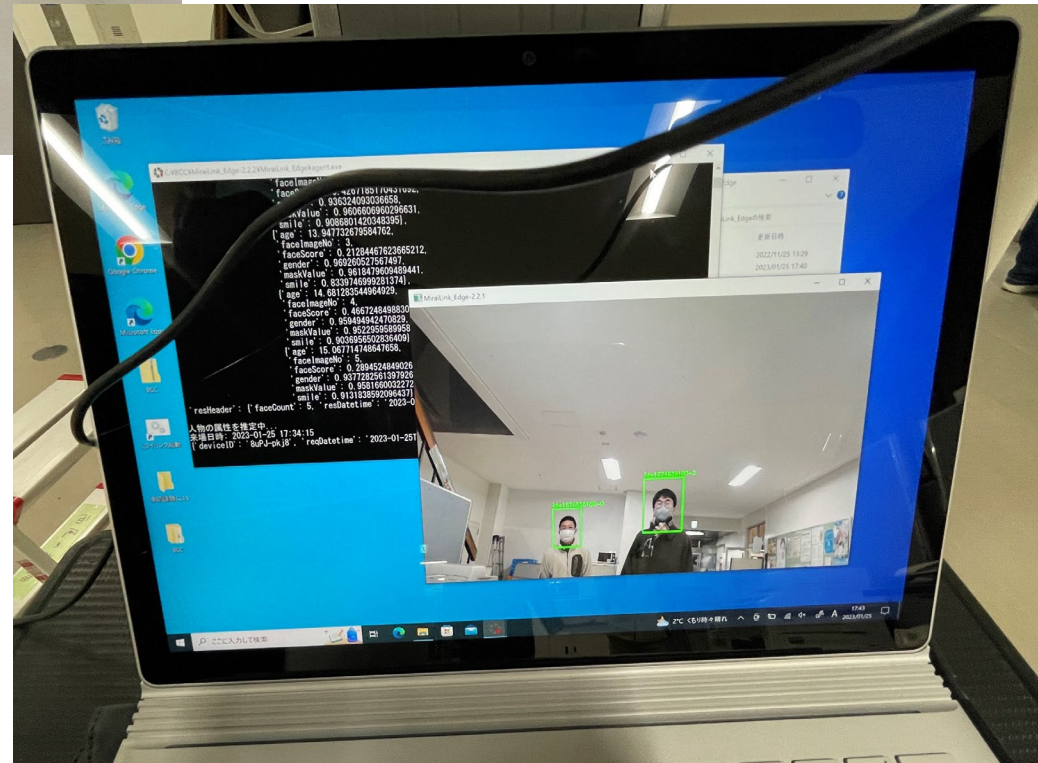
来場者分析サービスのイメージ

来場者分析システムを用いた動画視聴調査



カメラ・PC設置の様子

来場者分析システムを用いた動画視聴調査



この一連の調査は、「信州大学全学横断特別教育プログラム」の副専攻コースに所属する学生と共に、学びの一環として行っている。

(参考) 全学横断特別教育プログラム

実践力を持った人材やアントレプレナーを育成



全学横断 特別教育 プログラム

Shinshu University: Cross-Faculty Competency Training Program



ローカル・イノベーター
養成コース



グローバルコア人材
養成コース



環境マインド実践人材
養成コース



ストラテジー・デザイン人材
養成コース



ライフクリエイター
養成コース



＝全学横断特別教育プログラムとは＝

概要

学部を超えたコースに所属し、「地域」「世界」「環境」「データサイエンス」「AI活用」の未来を考える実践的な力やアントレプレナーシップを学ぶ信州大学独自の特別な教育プログラムです。コース修了者には修了証が交付されます。

特徴

他学部の同期生や先輩と交流しながら、地域や世界で先進的な取り組みをおこなう人達からリアルな課題を学び、現場の中で必要な問題分析や課題設定スキル、アイデア創出やコミュニケーションスキルなどを学びます。



ストラテジー・デザイン人材養成コース

Strategy Design Competency Program : SDコース

戦略的なデータ収集・活用を実践的に学ぶ



コース概要

本コースは、データ・アナリストの素養を育成するために開設しています。未来の予測が難しい世の中だからこそ、立ち位置を把握するためのデータ活用、効果的なアクションを志向する戦略や評価をする力が、未来への歩みに役立ちます。そのために、未来予測手法、ロジックモデルや因果モデルの形成及びそれに基づく政策/戦略策定 (EBPM: Evidence Based Policy/Planning Making)、社会調査や実験計画、データ分析などのリサーチ・リテラシーを学習します。これらは、企業や自治体等と連携し、リアルな現場を活用することで高い実践力を身に付けます。

履修方法

対象者

学部生

(原則、所属学部等による受講制限はありませんが、自身の所属学部等のカリキュラムが優先されます)

定員

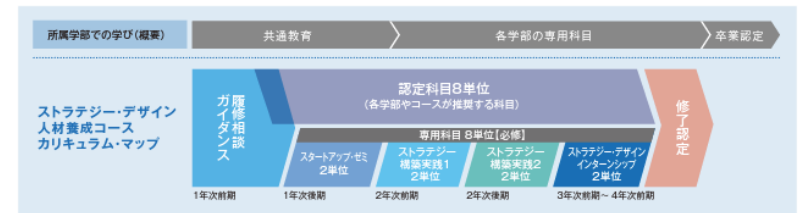
各年度20名以内

(履修希望人数の多寡に関わらず、単位や成績状況等を加味した上で選抜します)

修了認定要件と コース概要

全16単位を所定の評価以上で取得すること

- ①1年後期「ストラテジー&リサーチ・リテラシー」などのスタートアップ・ゼミ(2単位)
 - ②2-3年:専用科目「ストラテジー構築実践(2科目、4単位)」、「ストラテジー・デザインインターンシップ(2単位)」
 - ③認定科目8単位を受講(コース在籍期間中に取得)
 - ④キャリア形成イベントに参加
- ※1年次後期から3年次前期を標準とします



コース登録方法

受講希望者は、1年次後期に開講される「スタートアップ・ゼミ」を受講してください【必修】
2年進級時に受講申請し、選考のうえ受講を決定します
本コースの詳細はWebサイトや、eALPSコース「全学横断特別教育プログラム」を確認してください

詳細はコチラ
(コースWebサイト)



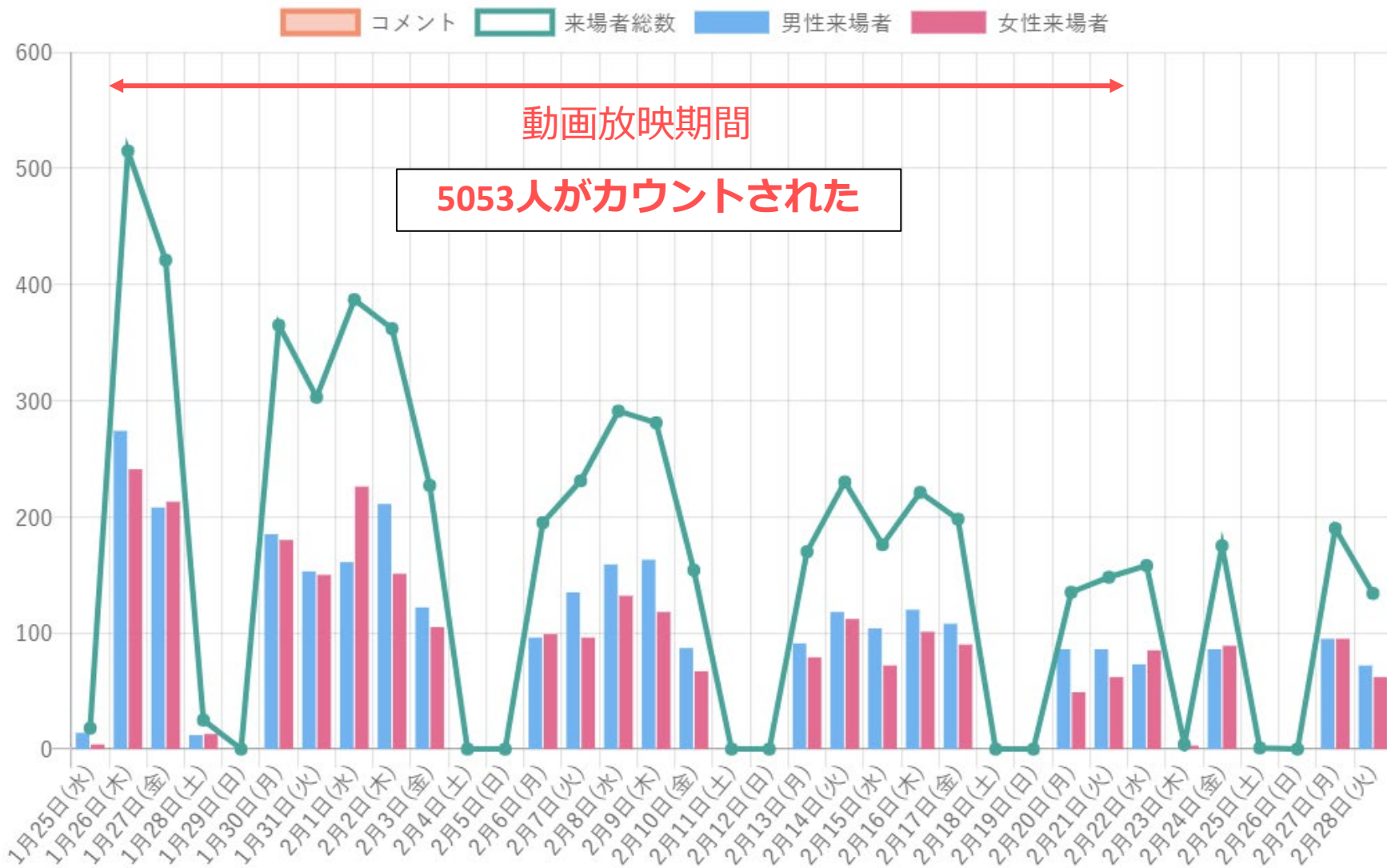
お問い合わせ先

信州大学ユニバーシティ・エンゲージメントオフィス

TEL:0263-37-2075 MAIL:strategy-design@shinshu-u.ac.jp
HP:http://www.shinshu-u.ac.jp/project/sd/

来場者分析システムを用いた動画視聴調査

時系列推移グラフ



来場者分析システムを用いた動画視聴調査

来場数タイムテーブル

	月	火	水	木	金	土	日
～9:00							
9:00～10:00							
10:00～11:00							
11:00～12:00							
12:00～13:00							
13:00～14:00							
14:00～15:00							
15:00～16:00							
16:00～17:00							
17:00～18:00							
18:00～							

生協食堂前であるため
昼食時間にかかる12:00～13:00が最もカウント数が多く
その前後1時間も多い傾向にある

Future Work

実際の生協食堂前を観察したところ、カメラに映る位置に学生がいるものの、デジタルサイネージに映る企業紹介動画を視聴しているものはほとんどいなかった。春休みの1か月間に5000人近くの潜在的視聴者がいると捉えると、今後どのような取り組みを行えば、学生が地域企業への関心が高まるようになるか考える必要がある。

問題点として、

- ・ デジタルサイネージ動画の音量が非常に小さかった
 - 適切な音量の管理
- ・ 通常期間にデジタルサイネージに流れている情報が学生にとって価値あるものでなかったため、企業紹介動画が流れていても、その価値に気づくことができなかった
 - 通常期間のコンテンツ作りの充実

などが考えられた。